

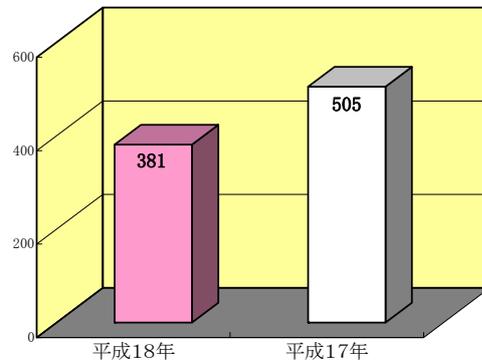
居空き編

< 居空きの現状（平成18年中） ※ 数値は確定値ではありません。

※ 「居空き」とは、家人等が在宅し、昼寝、食事等をしているときに住宅の屋内に侵入し、金品を窃取するものをいいます。

○ 大阪府下の居空きの認知件数

	大阪府下	
	大阪市内	市外
平成18年	381件	247件
平成17年	505件	326件
増減	-124件	-79件
増減率	-24.6%	-24.2%

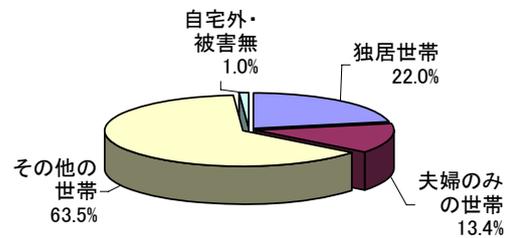


○ 世帯別認知状況

居空き事件における被害者世帯別の状況は、「その他の世帯」が6割強と大部分を占めています。

※ 「その他の世帯」とは、「独居世帯」・「夫婦のみの世帯」以外の世帯をいいます。

※ 「自宅外」とは、被害者が所有しているが、日常起居していない場所（別荘等）での被害を指します。



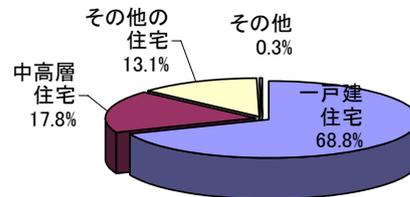
○ 発生場所別認知状況

発生場所別では、「一戸建住宅」の被害が約7割を占めています。

※ 「一戸建住宅」とは、専ら居住の用に供されている住宅で、一つの建物が一つの住宅であるものをいいます。

※ 「中高層（4階建以上）住宅」とは、1棟の中に3戸以上の住宅があり、廊下、階段及び外部への出入り口を共同で使用している住宅であって、4階建以上の鉄骨造り又は鉄骨・鉄筋コンクリート造りのものをいいます。

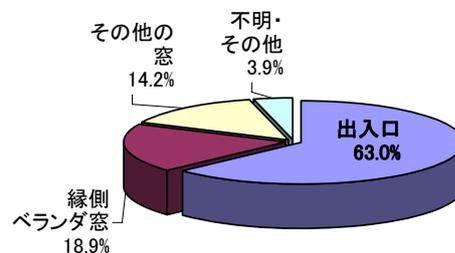
※ 「その他の住宅」とは、一戸建住宅及び中高層（4階建以上）住宅以外の住宅をいいます。例えば、3階建以下の共同住宅や、二以上の住宅を一棟に建て連ね各住宅が壁を共用している、いわゆる長屋建て住宅等をいいます。



○ 侵入口別認知状況

侵入口別では、居空き事件の場合「出入口」からが6割強と圧倒的に多くなっています。

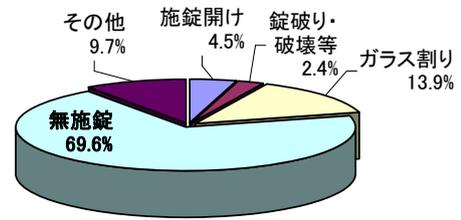
※ 出入口は、「表出入口」、「非常口」、「その他の出入口」の合計を、その他の窓は、「居室窓」、「その他・窓」の合計を示します。



○ 侵入手段別認知状況

侵入手段別では、「無施錠」が約7割を占めています。在宅中でもこまめな鍵掛けが必要です。

※ 「施錠開け」は、「施錠開け合い鍵」と「施錠開けその他」の合計を、「無施錠」は「開け放し」「施錠設備なし」「施錠せず」の合計を示します。



○ 被害額

昨年の居空きの被害総額は約8千万円、被害1件当たり約20万円となっています。

区 分	被 害 総 額(千円)		1件当たり 被害額(円)
		うち現金(千円)	
合 計	78,717	44,406	206,606